

ホームページ <http://sawashima.com/>

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

第2回定例会号

渋谷区議会区政報告

沢島 ひでたか通信 Vol.42



沢島ひでたかが提案した終活サポート事業がさらに前進！

**渋谷駅周辺の美化対策を提案！
補聴器購入助成拡充も前進へ！**

第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年6月4日（趣意）



環境対策

渋谷駅周辺のごみ箱設置について

質問 渋谷区としてはごみ箱を設置せず、持ち帰ってもらうということを基本方針として来ましたが、これは限界にきているのではないかと思います。

ごみ集積所や街路樹の植え込みの中、ベンチなど腰掛けられるところに次々と捨てられて、ますますひどい状況になっています。

そこで提案ですが、駅周辺のあらゆる民間企業・団体に呼びかけて、ごみ箱を設置してもらい、その維持管理を行っていただく。

また、特にごみの排出元となっているコンビニについては、店の中だけではなく外にも必ずごみ

箱を設置してもらおう。

もうひとつの大きなごみの排出元である、自動販売機については、自動販売機1台につき1箱、必ず飲料用のごみ箱を設置してもらってはいかがでしょうか。

答弁（区長）現状は、行政だけで全ての対応ができない状況になってきており、議員のご指摘のとおり民間企業・団体の協力も必要と考えます。

現在、渋谷駅周辺などにおいて、どのような業態の店舗からポイ捨てされるごみが多いのかを調査しているところです。

この調査結果をもとに、ポイ捨てごみの排出量の多い業態の店舗に、ごみ箱の設置を義務付けるための条例改正を考えています。



ネズミ駆除に対する補助金について

質問 駆除業者に依頼すると取れなくても料金が発生するため、何回もは頼めません。

物価高騰の中、ネズミ被害に苦しむ飲食店を支援するため、補助金制度が必要と考えます。

答弁（区長）今年度から商店会を対象とし、専門相談員を派遣し、アドバイス及び駆除作業を行う地域ネズミ防除相談事業とごみ容器貸与事業を開始する予定で準備を進めています。

議員ご提案の補助金制度の創設については、対象者や補助率など課題もあり、まずは、今年度に予定している事業を適切に実施し、その効果を検証した上で、事業の拡大や新たな課題について対応策を考えてまいります。

過料聴取など罰則強化について

質問 路上喫煙・路上飲酒、カウントダウンやハロウインの常識外れな騒ぎ方、また路上違反駐車等、結局、過料や罰則を科すなど一定程度の強制力が無いと問題が改善されないと思います。

その罰則強化に向けた調査・研究をしていくべきと考えます。

併せて、ごみ箱の設置に非協力的な店舗・企業等にも同様な措置をすべきではないかと考えます。

答弁（区長）ごみのポイ捨てを行った者には、「きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例」にお

いて、2万円以下の罰金を設けていますが、罰金を徴収するためには、刑事事件として起訴されなければならず、実効性に課題があり、実効性を高めるために、罰則について見直していく必要があると考えます。

福祉・健康

終活サポートについて

質問 令和5年の第4回定例会の私の代表質問で、社会福祉協議会等と連携し、利用料・預り金などを活用するきめ細やかな終活サポート事業を創設すべきと訴えました。区長からは「具体的な検討を進めていきたい。」とご答弁いただきました。現段階での進捗状況を教えてください。

答弁（区長）昨年度、社会福祉協議会が新たにエンディングノートを作成し、「認知症なっても展」や、地域包括支援センターで約1400部を参加者に配付したほか、12月には終活をテーマにした講演会を開催し、70人以上の参加があったと聞いています。

こうした取組を加速化させ、社会福祉協議会と連携して、終活サポート事業の創設に向けた検討を進めているところです。

骨粗鬆症対策について

質問 令和4年第3回定例会の

わが会派の代表質問で、健康診断に骨粗鬆症検診を導入することを提案し、区長からは「導入に向けて関係機関と調整を図ってまいります。」と答弁がありました。現在の進捗状況を伺います。

答弁（区長）来年度からの導入に向け渋谷区医師会と具体的な内容について協議中であり、40歳から70歳までの5歳刻みの女性を対象に、精緻な測定方法であるDXA法、またはMD法による検査が可能な医療機関で実施予定です。

補聴器助成の拡充について

質問 補聴器の必要性を感じても高額で躊躇する人も多いと思います。

一昨年、補聴器購入費用助成額を拡充していただき、東京都の中でも上位の助成制度となっていることは承知していますが、さらに一歩踏み込んで拡充できないでしょうか。

答弁（区長）補聴器購入を希望される方が増える一方で、議員ご認識のとおり、高額を理由に購入を躊躇するケースも想定されます。

今後、今年度から新たに開催する難聴対策普及講演会などを通じて、普及啓発を進め、補聴器購入のニーズや課題を確認しながら、更なる助成額等の拡充について検討してまいります。

子育て支援・教育

教材費及び学用品無償化について

質問 国による小学校給食費無償化が決定したら、渋谷区においても、まずは小学生の教材費及び学用品無償化を開始してはいかでしょうか。

その後、中学校給食費無償化が決定した段階で、中学生の教材費及び学用品、修学旅行費無償化を開始できれば良いと考えます。

答弁（区長）現時点では、教材費や標準服、修学旅行費を無償化する考えはありませんが、議員のご提案のとおり、引き続き、国及び都の動向を注視しながら、必要な対応を見極めてまいります。

交通政策

デマンド交通について

質問 区民環境委員会でデマンド交通（利用登録した方が利用したい時間、乗車場所、行き先を予約して利用できる公共交通システム）の実証実験案について報告がありました。

7人乗りのミニバン等で最大5人の乗客を想定しています。停留所もなく、様々な警察の認可も必要でなし、一般乗用車なので、運転手不足になることもあります。ぜひともこの実証実験

が成功裏に終わり、本格的な運行が開始されることを心から期待しています。

今回の実証実験のエリアは、笹塚、幡ヶ谷、初台、本町などを中心とした渋谷区北西地域で実施されることになっています。

この実証実験が終了した後に、続けて渋谷区南東エリアのアップダウンの激しい大向地域や恵比寿地域等においても実証実験を行うべきと考えます。

答弁（区長）本年秋の実証実験開始を目標に検討を進めているデマンド交通のエリアについては、まずは人口、高齢者の多い笹塚、幡ヶ谷、初台、本町などを中心とした渋谷区北西地域にて実施したいと考えています。

本実証実験において、高齢者や障がい者などの交通弱者のニーズや利用状況を踏まえ、より利用しやすい交通サービスに向けた効果検証を進め、エリアの拡大を検討してまいります。

防災

ペット防災について

質問 近年、家族の一員であるペットを守るためのペット防災の重要性が大きくクローズアップされています。

そこで、避難所運営委員会や避難所担当の職員の方等に対しての研修会の開催を提案します。

そして、避難所運営委員会ごとにグループディスカッションを行い、各避難所運営委員会ごとの独自のペット防災計画を作成してもらってはいかがでしょうか。



ペット防災の啓発について

質問 先日、ペット防災に取り組んでいる大向地区の有志の方が素敵なチラシを作っておられるのを見せていただきました。

作成者の同意を得た上で、参考にしていただき、新しいペット防災のチラシ・ポスターを製作してはいかがでしょうか。

併せてポスターも作製し、区内の全動物病院に対し掲示をお願いしてはいかがでしょうか。

答弁（区長）チラシ等を作成する際は、様々な意見を参考にしながら、より分かりやすく、伝わりやすくなるよう努めてまいります。

また、ポスターについても、獣医師会との連携など、様々な機会を捉え、広く区民へ周知、啓発を行うてまいります。



渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英 隆
渋谷区議会議員 沢島 ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962

寄せられたご相談に
全力で対応致します!!